

教養ゼミ		演習	講師 佐藤 康宏 准教授 伊藤 新
科目カテゴリー	柔道整復師コースの必修科目	科目ナンバリング	12130201

1. テーマ

本ゼミでは、柔道整復師コース2年生に対し、将来の資格取得に向けた基礎的な学習指導およびキャリア指導等を実施するとともに大学生活全般をサポートする。

2. ゼミのねらい・概要

この授業では1年次での学習習慣を踏襲しつつも、3年次以降に予定されている「国家試験対策」「卒業研究」「臨床実習」といった科目への橋渡しとなるような内容にも取り組んでいく。主として、1年次と同様の基礎学力の充実のための「確認テスト」を実施しながら、医療現場やスポーツ現場における実習に参加するための「臨床実習講座」も取り組んでいく。また、担当する教員はクラス担任としてゼミを運営し、必要に応じて学生への個別面談も行う。

3. ゼミ計画

1. ガイダンス、履修指導	8. 確認テスト④（前期まとめ）履修指導
2. 臨床実習講座①（実習参加の準備、実習見学）	9. 臨床実習講座③（実習参加の準備、実習見学）
3. キャリアアップのための指導①（全体ゼミ）	10. キャリアアップのための指導②（全体ゼミ）
4. 確認テスト①（柔道整復学：総論、頭部・体幹）	11. 確認テスト⑤（柔道整復学：上肢）
5. 確認テスト②（解剖学：血管系）	12. 確認テスト⑥（解剖学：運動器系①）
6. 確認テスト③（解剖学：神経系）	13. 確認テスト⑦（解剖学：運動器系②）
7. 臨床実習講座②（症例報告による口頭発表）	14. キャリアアップのための指導③（全体ゼミ）
	15. 臨床実習講座④（症例報告による口頭発表）

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

確認テストはテキストの指定範囲の予習を行った上で授業に臨むこと（約2時間程度）。臨床実習講座における実習見学後の症例報告による口頭発表についてはpower pointを用いて事前に作成したものを提出すること（2時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

口頭発表については発表後に個々の講評を行う。確認テストでは正答と重要ポイントの解説を実施する。

6. ゼミにおける学修の到達目標

本授業では、実習見学を通して学んだ症例をまとめ、口頭で発表するプレゼンテーション能力の習得を目標とする。加えて、国家試験で出題される主要科目（解剖学、生理学、柔道整復学）に関する基礎学力の向上も目指す。

7. 成績評価の方法・基準

定期試験（総合試験）（60%）、確認テスト（40%）の2項目より総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

西川彰／小林直行 著、解剖学ワークブック、医歯薬出版
西川彰／小林直行 著、生理学ワークブック、医歯薬出版
小林直行 編、運動器疾患ワークブック、医歯薬出版
その他の参考資料は必要に応じて授業中に配布する。

9. 受講上の留意事項

毎回の授業時にはテキストおよび配布資料を必ず持参すること。
講義回数の3分の1以上を欠席した場合は不合格とする。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本ゼミは、接骨院での臨床経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。